大分県信用組合「けんしん同友会」会報誌
TomoPal トモパル
2020.9
Vol.38
大分東部ブロック同友会
宇佐市同友会
杵築同友会

1 特集／TOP INTERVIEW
株式会社 まるひで
社会福祉法人 伊呂波福祉会
有限会社 山香水道
4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
5 けんしん同友会企業紹介
7 けんしんTOPICS

大分県信用組合「けんしん同友会」会報誌 トモパル
■VOL38 2020年9月30日発行 ■発行 大分県信用組合営業統括部 ■所在地 大分市中島西2丁目4番1号
TEL 097-534-8200 ■企画・編集 株式会社 アドコンセプト

けんしんTOPICS

マイナンバーカードをお持ちの皆さまへおトクなご案内です!!
マイナンバーカード・マイナポイント取得のサポートをいたします！

マイナポイント
上限5,000円分（付与率25%）
とあわせておトク!!

マイナンバーカード 普及応援定期HYBRID 特別優遇金利 年0.10%

募集期間 令和２年９月１日～令和３年３月31日まで
（募集金額に達した場合、終了いたします）

大分県と共同で「マイナンバーカードの普及促進に係る取組み発表会」を開催

令和2年9月2日けんしんと大分県が共同で「マイナンバーカードの普及促進に係る取組み発表会」を開催しました。けんしんでは平成30年5月より大分県と共同開発した「マイナンバー普及応援定期」を販売しマイナンバーカードの交付率向上に寄与してきましたが、今回政府によるマイナポイントの支給が開始されたことを受け、「マイナンバー普及応援定期」を「マイナンバーカード普及応援定期HYBRID」へリニューアルし、さらに県民の皆様にマイナンバーカード発行、マイナポイント取得申請のお手伝いもさせていただくこととしました。

［後列］ 常勤監事 竹中康博　常勤理事 藤原　正　常務理事 足立和美　常務理事 吉良晶吉　常務理事 穴見浩志　常勤理事 松村直樹

［前列］ 専務理事 福嶋清文　理事長 吉野一彦　大分県総務部長 和田雅晴　様　大分県総務部 市町村振興課長 渕野　勇　様　大分県総務部 市町村振興課副主幹 伊東大樹　様

お問い合わせ 最寄りのけんしん、もしくは フリーダイヤル 0120-393-528 URL https://oita-kenshin.co.jp

大分県信用組合
http://www.oita-kenshin.co.jp

大分を元気にプロジェクト

本号におきましては、大分東部ブロック同友会、宇佐市同友会、杵築同友会の皆さまに取材のご協力を頂き誠にありがとうございました。これからも順次各地域の同友会への取材を企画しております。なお、紙面構成の都合により至らぬ点もあろうかと存じますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。（会報誌編集事務局）

地域のためを、一途に思う

小さな精肉店から 大分を代表する企業に成長

多忙な中でも、店舗を訪れ従業員に声をかけるという小野社長

大分東部ブロック同友会

[食肉卸業]

株式会社まるひで

代表取締役 小野 秀幸氏

DATA

所 大分市大分流通業務団地1-3-6
☎ 097-524-3711
営 8:30～17:30
休 日曜　P あり
http://www.maruhide.info

県民の食卓に美味しさを届け続けている『まるひで』と言えば、ご存知の方も多いだろう。その始まりは昭和51年、JR大在駅のそばに開いた『丸秀精肉店』という小さな店だった。

食肉の専門学校に通い、そして大阪の肉屋で修業した後、夫婦ふたりで開いた『丸秀精肉店』。「休まず働いて、できることは何でもやった」と振り返る小野秀幸社長は特に品質にこだわり、生肉を販売していたという。ところが市場では冷凍肉が出まわっている時代で、本当に良い肉のほうが認められず苦労したそうだ。熱心に説明し続け、やがてその美味しさに取引先や消費者の方が気づき始めると、スーパー内に出店が決まるなど売上は右肩あがりに伸びていった。小野社長は「いちど食べていただいたら、美味しさを舌が覚える。それでリピーターが増えて行ったのだと思います」と語る。

現在は、物流拠点の流通業務団地に本社とパックセンターを構え、いち早くHACCPの導入なども行いながら、出店先のスーパーや百貨店などに均一な品質を保った食肉を届けている。心がけているのは、誰もが購入しやすいよう、種類も価格帯もさまざまに品揃えすることだ。それらは契約牧場のほか湯布院に構えた自社農場から厳選して仕入れ、安心・安全、そして新鮮な状態であることは大前提だ。

上／流通業務団地のパックセンター『KMミート』で加工を行っている　下／『ゆふいん並柳牧場』と『くじゅう高原牧場』を自社農場として所有

食文化だけではなく、宿泊・観光業にも貢献

食肉は学校や病院、飲食店などにも卸している

平成14年頃から、『ゆふいんホテル秀峰館』を皮切りに旅館やホテルの経営にも進出。『眺望の宿しおり』や『もと湯の宿黒田や』など、別府・湯布院を中心に約10軒を展開する。もちろん、その魅力は上質な肉料理を中心とした食事だ。また、『おにく処秀』やJR大分駅のホテル内にある『庭の食卓・四季』など飲食店の数も増え、ラーメン店『五九〇』、佐賀関の『よしだ会館』など今やジャンルも多岐に渡るが、一貫しているのは「豊かな食文化を創造する」ことだ。幅広く展開するこれらの事業を包括するため、平成27年に『F&Tホールディングス』を設立。まるひではその中核会社という位置付けである。

M&Aにも積極的で、今年の2月には『丸果大分大同青果』を傘下に入れたことでも話題となった。その経営手腕が多方面から求められているが、その源は?と尋ねれば「できることを精一杯すること」と、『丸秀精肉店』時代から今も変わらない信念がそこにある。社長室には「誠神誠意」という書が掲げられている。小さな店に始まり、近年の売上は140億を超えるまでに成長した。その勢いは今後も加速する。

障害者の「親亡き後」を見据え より良い社会生活を送る支援を

昨年、開所から20周年を迎えた障害福祉サービス事業所『ほろんの郷』を運営している。現在は、生活介護型事業所『ほろんの郷麻生』、就労継続支援B型事業所『ほろんの郷四日市』と相談支援事業所『台ノ原』があり、利用者からの評判も良い。

伊呂波川のほとりにある『ほろんの郷麻生』には、支援学校を卒業したての若者から70代までの幅広い利用者が通所している。運動や農作業などの生産活動、街に出かける課外活動を通じて大切にしていることは、社会生活をより良く送るための支援を行うことだ。一方『ほろんの郷四日市』の利用者は、『風土記の丘』の清掃や乾燥しいたけの石切り作業、自動車部品の組み立てなど外部からの委託作業を行い、対価を得ているほか、菓子や雑貨をつくって販売もしている。

そもそも伊呂波福祉会の前身は、昭和57年に設立された県下3番目の小規模作業所に遡る。前理事長の麻生浩一相談役が、自宅の倉庫を改築して、障害者福祉の未来をこの地域に開いていったのである。その意志を受け継ぐ渡辺浩二郎理事長は、昨今の社会と向き合い、さまざまな課題に取り組もうとしているところだ。たとえば、利用者の高齢化について。近年の酷暑の中では、屋外の清掃作業にも体力的な限界があることから、施設内での生産業務を増やさなければと考えている。また、かねてから利用者たちの「親亡き後」を考えており、関連事業としてグループホームも運営しているが、今後は「重度の障害を持つ方々のためのグループホームもつくってほしい」という声も挙がっているという。

創設時に比べれば、障害者総合支援法など法整備は進んできたものの、「障害をもつ人々に対して、もっと社会の理解が深まることを願う」という渡辺理事長。そんな社会が実現すれば、家から社会に出られる障害者や、事業所で働きたいという人材も増えそうだ。また、「利用者さんを大事にすることはもちろん、職員たちの働きがいを確保し、努力を認めてあげることも大切だと思っています」と、立場の分け隔てなく思いやりの心を寄せる理事長。「明日もまた来るねと、笑顔で1日を終えられるような施設をつくっていきたいです」と朗らかに未来を見つめる。

異業種からこの世界に飛び込んだ、温厚な人柄の渡辺浩二郎理事長

宇佐市同友会

[障害者福祉事業]

伊呂波福祉会

理事長 渡辺 浩二郎氏

DATA

所 宇佐市四日市3555-7
☎ 0978-32-0150
営 8:00～17:00
休 日曜※土曜、祝日は不定休あり
P あり
http://www.irohafukushi.jp

『ほろんの郷麻生』で、利用者たちがのびのびと運動をする様子

絵本に出てくるような素敵な建物の『ほろんの郷麻生』。
漫画家の麻生豊氏の生家跡であり、ノンキナトウサンがシンボルマーク

『ほろんの郷四日市』で、乾燥しいたけの石切りをする利用者たち]

マスクやアームカバー、巾着など制作したものは販売会に出品するが、今年はコロナ禍で中止に

地域のためを、一途に思う

水道工事店の域を超え 地域のオールラウンダーへ

「地域のために役立つことをしたい」との思いから、昭和51年に創業した。当初は水道工事店としてスタートしたが、現在は土木工事や解体工事など、杵築市一円で幅広いニーズに応じている。創業者らが築いた基盤をもとに確固たる組織づくりを行い、経営を安定に導いたのが阿部素也会長と児玉美津雄社長。阿部会長は現在、先代たちに続いて議員となり、地域貢献への思いをさらに強くしている。

学校などの公共施設や、『大分農業文化公園』『山香温泉風の郷』といった観光施設など、建設に携わってきたのは山香町を代表するスポットばかり。土砂崩れなどの災害が発生すれば復旧工事にも尽力し、その傍ら、日常的には個人客からの依頼も次々と舞い込む。倒壊の危険がある空き家や倉庫の解体、手すりの取り付け、トイレの改修、水漏れの修理、エアコンや照明の取り付けと、挙げればきりがないほどで、どんな困りごとにも駆けつけるという。とくに水まわりの改修工事は住まいの快適性を高めるので喜ばれており、「孫が古いトイレを嫌がって帰ってこなかったが、新しくして会いにきてくれるようになった」という例もあるそうだ。近年は、市外から参入してきた同業者に工事を発注したものの、施工後のメンテナンスをどこに問い合わせたらいいか分からないという人も多い。そんなとき、頼りになるのが地域に根ざしている『山香水道』の存在なのである。

右／土木工事は児玉社長の専門分野。従業員は各種資格を備えている
下／創業時から得意とする管工事の様子

上／会社は山香病院のそば。外にいるのは看板犬のリュウ
下／社員旅行での記念写真。毎回、出発時から大盛りあがりとか

山香町は、70歳以上の世帯が多くを占めた過疎地域ゆえに、「高齢者の見守り役も兼ねていきたい」という児玉社長。年金で暮らす独居の高齢者から些細な依頼を受ける場合は、無料で工事をすることもある。

「困っている人を我々が助けてあげなければ、いったい誰がするんだという気持ちでやっています。利益を上げることよりも、信頼を築くことのほうが大切なんです」。

毎年社員旅行に出かけるなど、社内でのコミュニケーションは抜群。明るく元気な社員たちが、地域の顧客と顔なじみであることが、何よりの営業ツールとなっているようだ。小規模な事業所ならではのフットワークの良さと、丁寧な仕事、そして地域への思いやりを強みに、「病院で言えば総合診療科のような役割を担えるよう、あらゆる要望に応えていきます」と、笑顔を見せる児玉社長だ。創業時の『山香水道』という社名を守りながらも、水道工事にとどまらない、さまざまな工事に力を入れていく。

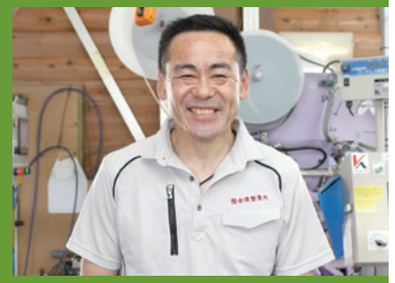
「やりがいは、形に残るものをつくれること」と語る児玉社長

杵築同友会

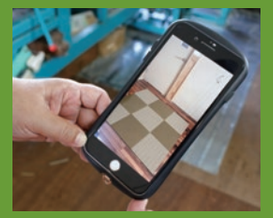
［建設業］
有限会社 山香水道
代表取締役社長 **児玉 美津雄**氏

DATA
所 杵築市山香町野原4218
☎ 0977-75-0208
営 8:00～17:00
休 第２土曜、日曜　P あり

キラリ 新風力 New Wind & Fresh Power ふわり 爽風力



有限会社 安達製畳所
代表取締役 **安達 恵司**さん



ARを使い、畳を敷いたイメージをシミュレーション。フェイスブックやインスタグラムも活用して良さを広めている

DATA
［畳製造］
有限会社 安達製畳所
所 大分市関園742-1
☎ 097-527-2006
営 8:00～19:00
休 日曜、祝日　P あり
https://oita-tatami.com

夫婦二人三脚で開発した ユニット畳「フェルディ」が評判

戸建でもマンションでも洋間が主流となり、和室離れが加速している昨今。それを嘆かずに時代に適した新たな商品を開発し、評判を呼んでいる畳屋がある。創業から半世紀以上の腕と実績を誇る『安達製畳所』だ。

新商品とは、昨年販売を開始したユニット畳の「フェルディ」のこと。1辺が82cm四方の正方形をした新時代の畳は、厚さ1.2cm、重さ1.8kgと軽量で設置が自由自在なうえ、畳と同等の弾力性あり、防音効果も高い。その秘密は、フェルト由来の中材を使用していること。そこに耐久性が高く、傷もつきにくいポリエステルの表材を貼り合わせてモダンな印象に仕上げた。

試行錯誤の末に完成したこのオリジナル商品は“お部屋の試着”で提案するというのもユニーク。ARの技術を利用し、部屋に畳を敷いた様子がシミュレーションできるのだ。使い心地を試してもらうための貸出も行っているという細やかなサービスが、消費者の心を掴んでいるようだ。テレビや新聞にも取り上げられ、一般の住宅のほか県内の旅館や寺院にも納入したそうだ。

社長の安達さんは、畳一筋の職人気質。生産履歴を追跡できるイ草を仕入れ、農家でのイ草刈り取り体験や勉強会にも顔を出して品質とサービスを磨き続けている。「フェルディ」を発案した妻の英子さんには、「私は畳屋の息子として生まれたが、妻は一からこの世界を学び、私の視野まで広げてくれた。」と感謝。これからも夫婦二人三脚で、日本の伝統産業に新風を吹き込む。

学校法人 吉用学園
柳ヶ浦高等学校校長 **佐藤 扇太郎**さん

モンゴルの日本語学校で、学校説明会を行う様子。良好なパートナーシップを構築できている

DATA
［私立学校］
学校法人 吉用学園
所 宇佐市江須賀939
☎ 0978-38-0033
営 8:00～17:00
休 土・日曜、祝日　P あり
https://yanagigaura.ed.jp

真のグローバル社会を見据え 留学生の受け入れを本格化

学校法人 吉用学園は、柳ヶ浦高等学校、ことぶき幼稚園、九州総合スポーツカレッジの3校を運営する。中でも、部活動の活躍が目覚ましい柳ヶ浦高校は令和元年に創立110周年を迎えた。そんな伝統校が今春、普通科インターナショナルコースを新設し、グローバル化へ舵をきった。

かねてから普通科体育進学コースに留学生を迎えていたが、インターナショナルコースは日本語検定2級の取得を目的とするもので、留学生たちは卒業後、日本の大学や専門学校への進学を目指すことができる。日本の生活習慣や、華道や茶道などの嗜みにも親しんでもらう予定だ。コースの新設に向けては、韓国、モンゴル、ベトナム、中国、香港、台湾の6カ国を訪問して日本語学校と提携。現地で説明会や面接を行い、今年度は韓国、モンゴル、中国、香港の4ヶ国から計18名の新入生を迎えた。特に宇佐市とテコンドーを通じて交流のあったモンゴルでは国の副総裁にも歓迎され、直々に期待を寄せられたという。

新入生たちは現在、コロナ禍で日本へ入国できないままだが、オンライン授業でコミュニケーションを取っている状況。佐藤校長は留学生たちを迎えられる日を心待ちにしており、「しっかりと準備はできている。今後は個々が将来どういう道に進みたいのかよく耳を傾け、卒業後の行き先を探すことに尽力していきたい」と話す。入学してくる留学生は、目的意識の高い生徒ばかり。近い将来、さまざまな国籍の人がともに働く社会を見据えて、グローバルな人材を育てていく。

塗装・リフォーム工事全般

株式会社 岩工技建

塗装の技術を強みに 不動産を魅力的に再生

「オーナーさんも住む人も、関わる人皆が気持ち良くなる仕事がしたい」と語る社長の岩田和久さん

塗装会社の域を超え、現在は古く流行遅れになったマンションやアパートのリフォームを中心に手がけている。最初に手がけたのは、昭和30年代に建てられたアパート1棟。購入し、内装から外装まで真新しい建物と見違えるほどに再生させたところ、あっという間に満室になったという。これが評判となり、方々からオーナーを紹介されるようになっていった。床材や壁紙を張り替えるだけでなく、古い間取りを現代の暮らしに合わせて改修するなど、アイデアは豊富。外壁を一新して建物自体のイメージアップを図れるのが、塗装屋としての強みでもある。貸倉庫「P-box」から派生した自社ブランド「P-box building」を展開して人気も認知度も上昇中。空室対策に悩んでいる不動産オーナーの方々は、ぜひお気軽にご相談を。

所 大分市羽田467-1
☎ 097-507-6801
営 9:00～19:00
休 日曜、祝日　P あり
https://www.iwakohgiken.co.jp

機械器具設置・管工事・鋼構造物工事・水道施設工事業など

平田工業 株式会社

大規模なプラント工事から 身近な業務までを手がける

重さ60トンにも及ぶ大きな機械を設置する様子

大分市内三川に社屋と工場を構え、生産設備の建設に欠かせない機械設置や配管などの業務を受注している。北海道から沖縄まで全国各地から依頼があり、火力発電所の建設にも携わった経験を持つ。一方で、上下水処理場、ポンプ場、及び焼却場などの公共事業も請負うなど、その技術を生かす場は多岐に渡る。スキルもニーズも十分にあるが、唯一足りないのが人材。ライフラインを築くという夢も使命も大きな仕事だが、多くの企業と同じように、若手の確保に苦戦しているという。平田聡社長は、「目の前の先輩を目標に一段ずつスキルアップしていけるのがこの仕事の醍醐味。未経験者でも、真面目に取り組む気持ちがあれば大歓迎です」と語る。全国各地の現場に出向くので、見聞を広められるのも魅力と言えそうだ。

所 大分市三川下3-6-21
☎ 097-552-6216
営 8:30～17:30
休 日曜、祝日　P あり
https://hiratakogyo.com

不動産・介護老人保健施設

ナイスエリア有限会社

不動産業者の サービスを強みに 住宅型有料老人ホームを展開

「福寿の郷」は、まだ空室あり。
明野地区の静かな住宅街に佇む

売買、仲介、転売、管理からコンサルティングまで不動産業務全般を手がけており、中でも土地の売買を得意としている。地域に貢献できる会社を目指したいとの思いから、高齢者福祉の業界にも進出し、6月1日に住宅型有料老人ホーム「福寿の郷」をオープンさせたばかりだ。個室10室と夫婦でも入居できる2人部屋が8室あり、定員は26人と比較的小規模ながら、長期の入院を必要とするような重度の要介護者を受け入れることが可能。看護師による24時間体制の手厚い医療サービスを整え、訪問介護やデイサービスにも対応している。入居に際しては懇切丁寧な対応を心がけている中、自宅や土地の売買、相続の相談にも応じてくれるというのが不動産業者ならではのポイント。必要な場合は弁護士や司法書士の紹介もしてくれるので安心だ。

所 大分市明野北2-15-2 岩本ビル104
☎ 097-507-9147
営 10:00～18:00
休 土・日曜、祝日　P あり
http://www.nicearea.co.jp

飲食業

有限会社 丸萬

目にも舌にも美味しい長洲の新鮮な旬魚を提供

大分県立歴史博物館の向かいに店を構える割烹料理店『魚処丸萬』。創業は100年ほど前に遡り、長洲で仕出しと宴会のサービスを始めたのが起源で、2002年に現在の場所へと移転した。当初から変わらない自慢は、長洲の新鮮な魚介類を提供すること。遠浅の豊前海で獲れる魚は旬ごとに変化し、夏はハモや豊幸ガニの名で知られるワタリガニ、冬は鰭やクロソイなど、四季折々の味で舌を楽しませてくれる。名物は5～11月頃まで味わえる「鱧しゃぶコース」で、メインのしゃぶしゃぶのほか刺身や天ぷら、雑炊が付く豪華な内容だ。国東半島の観光の中継地点として、北九州や熊本方面から食事に訪れる人も多いという。最近は、地元の人にももっと利用してもらえればと、気軽に食べられる「海鮮丼」の提供もスタート。紅葉狩りの季節にはぜひお立ち寄りを。

国宝『宇佐神宮』にも近く、観光途中の食事にぴったり。地元の人の冠婚葬祭利用も多い

所 宇佐市高森737-2
☎ 0978-37-3771
営 11:30～15:00(LO13:30)、17:00～22:00(LO19:00)
休 月曜※祝日の場合は営業、翌日休みあり　P あり
http://uodokoro-maruman.main.jp

建設業

有限会社 安藤建材店

生まれ育った地域を拠点に 信頼を繋ぐ仕事を展開

身の丈に合った健全な経営がモットー。会社の存続に向け今後は事業承継の準備も進めたいと言う

昭和47年に創業し、まもなく半世紀。リフォーム工事を専門とし、一般住宅を主に学校や市営施設の改修工事も受注している。営業活動は行わず、手がけた仕事の成果を新しい依頼へと繋げてきた。「公共工事の厳しい検査を1回でクリアするなど、クレームのない仕事をして信頼を勝ち取ってきました」と言うのは、2代目の安藤栄彦社長だ。大分市内全域に顧客を持つが、特に生まれ育った津留地区への思いは強い。電気、壁紙、畳、塗装など下請けに協力を求める場合は可能な限り地元の業者と組み、円滑なコミュニケーションを取りながら施主に安心を届けているほか、現在は津留商工振興会の会長としても活躍している安藤社長だ。「今後は地区で暮らす高齢者の見守りが課題。活性化に向けて地域貢献していきたい」と思いを語ってくれた。

所 大分市岩田町3-2-1
☎ 097-558-5637
営 8:00～18:00
休 日曜、祝日　P あり
http://andoukenzaiten.com

農業

株式会社 走るトマト

オランダ式の温室で 大幅な生産増に挑戦

広大な温室では、従来の農家では見かけない昇降式のリフトに乗って作業を行っている

近年話題となっているオランダ式の温室栽培を、2007年からいち早く展開している。フェンロー型被覆エアーハウスと呼ばれる1.4haの温室では、3万3000株もの苗を栽培。8月中旬に植える苗は、養液で育てながら高い天井に伸びるように蔓を誘引していく。収穫は11月から翌年6月まで続くが、今年はスタッフも倍に増やし、昨年の350トンから500トンまで生産量を拡大しようと意気込んでいる。「栽培環境が品質に直結する」と、広大な温室と膨大な苗の管理には余念がない。栽培している「富丸ムーチョ」という品種は糖度が高く、カットした際にゼリー部分が崩れにくいことが特徴。首都圏や関西圏のバイヤーに注目されており、県内ではファミレスやコンビニにも卸しているほか、一般客はAコープきつき店で購入可能だ。

所 杵築市熊野1326-1
☎ 0978-62-3500
営 9:00～16:00
休 土・日曜
P あり